

あなたに出来る命のリレー。若いドナーが足りません。

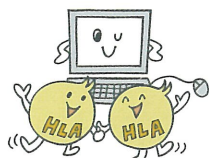
骨髄バンク・ドナー登録

ドナー登録は、骨髄・末梢血幹細胞の提供を正しくご理解いただくことが大切です。詳しくお知りになりたい方は、ドナー登録のための冊子「チャンス」をご覧ください。ネットでも閲覧できます。

<https://www.jmdp.or.jp/reg/about/flow.html>

◎ドナー登録

全国の献血ルームや保健所などでドナー登録できます。登録は2mlの採血で済みます。



◎適合したら

患者さんと適合した場合は、詳しい説明がなされ、骨髄・末梢血幹細胞の提供のうち承諾しない方法があるか確認します。

※条件によって骨髄提供のみとなる場合もあります。



◎最終同意

立会人同席のもとドナー候補者の最終的な提供の意思が確認されます。家族の同意も必要です。

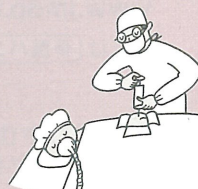


骨髄・末梢血幹細胞の提供

最終的な同意の後には、提供日や病院の調整と健康診断が行われます。提供ではドナーの安全が最優先されます。

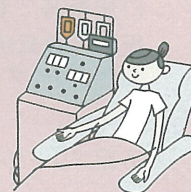
◎骨髄提供の場合

通常3泊4日の入院をします。骨盤の背中側、ベルトの位置より少し下の腸骨に針を刺し、骨髄液を吸引します。(全身麻酔下で行われます)



◎末梢血幹細胞提供の場合

通常4泊5日～6泊7日の入院をします。採取前の3～4日間、白血球を増やす薬を注射し、4日目または5日目に末梢血(全身を流れる血液)に流れ出した造血幹細胞を採取します。



◎提供後、数日内で退院*

提供後、数日内で退院し、日常生活に戻ることができます。退院後は、健康診断を行うなど、ドナーの健康をフォローアップします。

※提供方法によって異なります。



<提供の安全性>

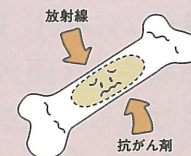
通常、提供で健康を害することはありません。安全性に関する詳細は日本骨髄バンクのホームページをご覧ください。

患者さんの移植の流れ

正常な造血が行われなくなった患者さんの造血幹細胞を、健康なドナーから提供された造血幹細胞に置きかえる治療法が骨髄・末梢血幹細胞移植です。

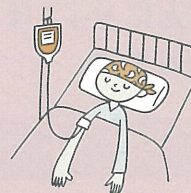
◎前処置

患者さんの異常な造血幹細胞を死滅させ、血液が造られない状態にします。



◎移植

移植当日、ドナーから採取された造血幹細胞を患者さんの静脈に注入(移植)します。



◎社会復帰

移植が成功すると患者さんは健康な血液を造れるようになり、普通の生活に戻れます。



ドナー登録から提供までの流れを動画でわかりやすく紹介しています。

